

講師からAIの実践的な活用を学ぶ参加者



社労士事務所 AI活用研修会

米子で、タイヨー通信

ITサポート企業のタイヨー通信(安達孝宏社長、日吉津村日吉津)は10日、米子市内の社会保険労務士事務所(AIを活用した研修会を実施した。

同社は企業などのAI活用を支援する地域密着型対面サービス「AIさんいん」を展開し、実務の精度と安全性を高めるための実践的な研修会を開く。

同社によると、社労士事務所では、出勤簿の集計

や入力などで表計算ソフト「エクセル」を使う事務の効率化が課題で、法令に基づく業務ではハルシネーションと呼ばれる「AIのうそ」を排除した正確性も求められるという。

米子市角盤町3丁目のますたに社会保険労務士事務所(舛谷剛代表)で開かれた研修会は職員4人が参加。AIさんいんの講師、岩荷歩さん(46)がAIを活用した下書き作成やチェックで業務が軽減されることを解説し、用途や情報の密度に応じて複数のAIツールを使い分ける考え方を紹介した。

舛谷代表は「人手を取られた集計や就業規則の文章の確認などで大幅に効率化が期待できる。職員の時短も見込めそう」と話した。